

地方独立行政法人大阪府立病院機構

平成20年度 年度計画の概要

1 基本方針

平成20年度計画では、中期計画を着実に進めるとともに、府民ニーズや新たな医療課題に適切に対応するため、次の観点から目標を設定し、その達成に取り組むこととする。

- ① 府立の病院が府医療施策を先導し、各病院に位置づけられた公的使命を果たすため、病院の役割・特性に応じて、大阪府保健医療計画等を踏まえた診療機能の充実・強化に取り組む。
- ② 患者、地域、医療スタッフ等にとって魅力のあるマグネットホスピタルをめざして、医療スタッフの確保・育成、労働環境の改善を図るとともに、患者・府民の満足度を一層高める取組を進める。
- ③ 将来にわたって持続的発展が可能となるよう、人的・物的投資を戦略的に行いつつ、収支の改善を図り、経営基盤を強化して、不良債務の計画的解消を図る。

2 主な取組事項

① 公的使命を果たすために

【高度専門医療の充実等にかかる各病院の取組】

急性期c	○脳卒中等の救急患者に対する当初治療からの一貫したリハビリテーション医療を実施（P1） ○生活習慣病対策の一環として、 <i>メボ</i> 外来、CKD（慢性腎臓病）外来等の設置（P1） *三次救急新入院患者数 ⑱実績 1,579人→⑳目標 1,600人 (SCU、CCU新入院患者数(各300人)を含む)
呼吸器c	○肺がん等の早期発見、早期治療にかかる診療機能の強化（集学的治療の充実）（P2） ○専門看護師等による呼吸器看護専門外来を充実し、在宅酸素療法患者を支援（P2） *肺がん新発症患者数 ⑱実績 222人→⑳目標 260人
精神c	○19年度入札不成立の再編整備事業について、入札条件等を再精査の上、事業の推進（P2） ○子どもの心の診療拠点病院として、心の問題を抱えた子どもを対象に専門外来診療を強化、関係機関への診療支援、ネットワーク事業、啓発活動を実施（P8） *確定診断患児数（自閉症児初診断患児数の内数） ⑱実績 350人→⑳目標 400人
成人病c	○難治性がん患者に対し、手術、放射線治療、化学療法などを効果的に組み合わせた集学的治療の実施（P2） ○都道府県がん診療連携拠点病院として、地域医療機関の技術的支援・連携を強化（P9） *がん新入院患者数 ⑱実績 7,610人→⑳目標 7,700人
母子c	○産婦人科診療相互援助システム（OGCS）、新生児診療相互援助システム（NMCS）の基幹病院として、夜間の重症妊婦等の緊急搬送の迅速化を調整（P9） *母体緊急搬送受入件数 ⑱実績 90件→⑳目標 125件

【人材の確保・育成】

- 近隣大学への働きかけを行うと共に、府と連携しつつ国等へ働きかけを行い、医師の確保に努める（P3）
- 育児のための短時間勤務を認める制度、院内託児所の時間延長等、医師等の労働環境の改善を図る（P4）
- 認定看護師、専門看護師の資格取得の長期自主研修制度を運用するなどの研修を充実（P4）

② 患者・府民の満足度向上

- 平成18年度に実施した患者満足度調査を踏まえて、患者、府民サービスの向上に向けて取り組むと共に、効果を検証するため、改めて患者満足度調査を実施。（P11）
- 待ち時間及び検査・手術待ちの改善を図ると共に、コンビニエンスストア等の導入や駐車場の整備等院内環境の快適性向上、利便性の向上に努める。（P11～12）

③ 不良債務を解消するために

- 予算管理の弾力化を必要に応じて図りつつ、収入に見合った費用を計上し、経費の精査を徹底（P19）
- 複数年の計画未達成の病院は、重点的に収入確保と費用抑制に取り組み、医療収支比率を改善（P19）
- 地域医療機関との連携強化等に伴う患者確保、診療報酬上の上位基準取得等による診療単価向上（P19）
- 診療報酬の請求漏れ及び減点の防止のための精度調査の実施とこれを活用した専門研修の実施（P19）
- IT化・アウトソーシングによる組織のシム化、職務給の原則に立った制度運用等により給与費を抑制（P20）
- SPDによる材料費の削減がより効果的になるよう、医療材料における同種同効品の集約化（P20）

〔20年度 当初予算〕

(単位：億円)

	法人全体	急性期C	呼吸器C	精神C	成人病C	母子C
営業収益	609.5	184.5	92.7	52.3	158.4	121.5
うち医療収益	490.3	161.4	73.3	28.3	132.3	94.9
うち運営費負担金	117.1	22.5	19.3	23.7	25.6	26.0
営業外収益	9.4	5.0	0.7	0.2	1.1	1.4
資本収入	42.1	10.5	1.8	0.2	3.0	10.4
収入計 ①	661.1	200.0	95.3	52.8	162.4	133.3
営業費用	592.7	181.2	91.7	51.7	146.3	113.5
医療費用	584.5	181.2	91.7	51.7	146.3	113.5
給与費	333.5	98.9	55.6	40.5	75.9	62.7
材料費	140.8	48.8	15.6	5.2	41.9	29.4
経費	105.0	30.9	20.1	6.0	27.1	20.9
その他	5.2	2.6	0.4	0.1	1.5	0.5
一般管理費	8.2					
営業外費用	7.8	5.2	0.2	0.0	0.2	1.4
資本支出	42.1	10.5	1.8	0.2	3.0	10.4
費用計 ②	642.6	196.9	93.7	51.9	149.5	125.3
資金収支差 ①-②	18.4	3.1	1.5	0.9	12.9	8.0

※身体障害者福祉センター付属病院との統合による影響を含む。収益的収支、資本収支を合わせた予算。

(参考) 中期計画の資金収支見込

(単位：億円)

	決算		第1期中期計画				
	17年度	18年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
単年度資金収支	△4.2	13.0	11.1	9.4	16.0	14.2	19.9
累積資金収支	△64.8	△51.8	△53.7	△44.3	△28.3	△14.1	5.8
不良債務比率	15.0%	11.6%	12.0%	9.6%	6.1%	3.0%	—

〔施設及び整備に関する計画〕

施設及び整備の内容	予定額	財源
急性期・総合医療センターエレベーター改修工事 呼吸器・アレルギー医療センター病棟浴室等整備 精神医療センター再編整備 成人病センター外来診察室整備 母子保健総合医療センターリニアック棟整備 医療機器整備 等	2,470百万円 (建設改良費)	大阪府長期借入金等